

ICTのご紹介

Infection control team: 感染制御チーム

ICTは、院内の感染管理を担当し、病院内の患者さんやご家族、病院で働くスタッフを感染から守るために活動している組織横断的なチームです。

メンバーは、35名で、2名のICD(Infection control doctor:感染管理医師)と4名のICN(Infection control nurse:感染管理認定看護師)を中心に、検査技師、薬剤師、事務職員など多職種で構成されています。



ICTの活動内容

- **院内の感染情報の提供**
- **感染管理ミーティングの開催**
- **環境ラウンドの実施**
- **職員教育**
- **医療関連感染サーベイランス**
- **針刺し防止対策**
- **感染症発生時の対応**
- **院内における広報活動**
- **近隣医療施設との連携活動**

感染対策活動は自施設の感染対策に留まらず近隣医療施設と感染情報を共有し、地域における感染防止対策の推進にも取り組んでいます。

1. ミーティング

ICTミーティングの様子



月に1回ICTメンバーが集まって感染に関する情報を交換し、感染対策上の問題を話し合っています。

週に1回血液から検出された細菌に対する適切な抗菌薬の治療法等について検討を行っています。

2. 環境ラウンド

週に1回、多職種で構成されたチームが病院内をラウンドし、衛生環境や標準予防策の徹底状況などをチェックします。指摘された問題点は、現場の職員と協議して改善に繋がります。



環境ラウンドの様子

3. 職員教育

全医療職員に対して、正しい手指衛生の方法、正しい手袋やエプロンの着脱方法などの教育を行っています。また、研修会を開催して感染対策のトピックスや感染予防の基本を広報しています。

感染の防止には院内全体での知識・情報の共有が重要です。全員がもれなく参加できるように、1つのテーマに対して複数の日、時間帯で研修会のスケジュールを設定しています。



ICT研修会



おむつ交換研修会